

地域に広がるネットワーク

森林保全に取り組み、団体間の交流を促進しようと、四月に結成された「森林を守るろう!山陰ネットワーク」が、加盟は発足の十八団体から現在は二十五団体まで増え、保全活動の輪は徐々に広がっている。

県土の大部分を森林が占める山陰両県は、森林保全活動の団体のつながりが弱かった。国産材の価格低下、林業従事者の高齢化などによる山の

「協力することで森林保全の重要性を訴える力も違ってくる」

訴える力も違ってくる

では活動を知らなかった人でも森に関心を持って、ボランティアに参加してくれるようになったと話す。

来月十月には、同連絡会議が中心になって大田市で全国から森林関係者が集う全国雑木林会議が開催される。高橋理事長は「ネットワーク会議を通じて知り合いになった人にも協力してもらい、ぜひ成功させたい」と意気込む。

事務局を務める山陰合同銀行地域振興部地域プロジェクト支援グループの森下義雄業務役員は「他団体の情報やノウハウを共有でき、協力することで森林保全の重要性を訴える力も違ってくる」とネットワーク会議設立



地域貢献活動への関心の高まりを受け、森林保護ボランティアに積極的参加する山陰合同銀行の行員ら。鳥取県智頭町



地元の子供たちに山保護の大切さを教える「緑と水の連絡会議」の高橋義雄理事長(左)。地域団体のネットワークは着実に広がりを見せている。大田市三瓶町



宮脇 昭 (植物生態学者)

コラム

多くの文化を持つ地域です。タノキやシイ、カシ類の豊かな森がありましたが、近年は他の地域と同様の課題を持っています。

私自身「出雲ふるさとの森植樹祭」に参加し、本物である「鎮守の森」

出雲の森、日本の森、世界の森

私は、岡山の山地の農家で生まれ育ちました。出雲参りが大きな楽しみである土地柄です。出雲大社は創建当初三十二丈(およそ九十六メートル)もの木造建築であったと言われ、この山陰は、まさに木のことを知り

の復活を目指して活動を続けています。現場に立ち、自分の目で見、臭いを嗅ぎ、触って、初めて初めて分かることも多く、そこには常に新しい感動と発見があります。

森作りの難しさは、壮大な自然と

になり、5本植えると「森林」になる。日本語のすばらしい発想と人間の想像力を結びつけることで、生命と文化を守る森ができます。山や里で植える人、準備をする人、みんなに声をかける人、苗木の資金を出す人、

引き算することはやめてそれぞれができる力を掛け合わせることで必ず実現できます。

山陰の森を「出雲」の時代の森にするのが、日本の森の再生へと繋がります。やがて世界の森が本来の、本物の姿となる。すばらしさと偉さ、厳しさを併せ持った中で共生する本物の社会を実現するため、ここ山陰でも、まだまだあと三十年は森作りを続けたいと思っています。

全国雑木林会議

全国雑木林会議は、雑木林や里山の保全・管理などの森づくり活動や環境教育などを主体的に行う全国の市民団体を中心に、主に情報の場として組織された。1993年、名古屋市で1回目の会議が開かれて以来、全国各地で開催され、来年の鳥根大会で15回目を迎える。

市民主体の森林保全活動は行政、企業などと連携するなど広がりをみせている。同会議のテーマも森づくりを中心に、地域の歴史や文化を学ぶ分科会やフィールドワーク、エクスカッションなど幅広い内容で開催され、地域の自然を見直す機会となる。

企画・山陰中央新報社

森林保全活動レポート



自然を守ることは、ふだんから自然に親しむことから始まります。

プレゼント
山陰の間伐材を利用した紙容器入りドリンクプレゼント

運載しています。特製・広告に関するご意見を郵便またはFAXで募集しています。抽選で20名様に「間伐材を利用した紙容器入り飲料(提供ポカホン/ポーション/250ml入り・24本)をプレゼントします。ご意見をお送りいただく際にお名前、郵便番号、ご住所をご記入ください。締め切りは11月30日消印有効。なお当選者の発表は商品の発送をもってさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用させていただきます。

〒690-0062 松江市魚町10 山陰合同銀行 地域振興部内
「森林を守るろう!山陰ネットワーク会議」プレゼント係
TEL.0852-55-1820 FAX.0852-28-0495

豊かな緑を子どもたちの未来へ! 森林を守るろう!山陰ネットワーク会議

山陰の森林に関する活動を展開しているNPO法人やボランティア団体を中心にネットワークを構築し、森林保全の輪を広げる活動を展開します。

テントの下に集められた木はコナラやクヌギ。この木を利用して椎茸の菌を植えていきます。

豊かな自然にふれるためのイベント。でも目的はそれだけではありません。倉吉市の中央部を流れる天神川流域では、台風による水害が多く発生しています。防災という、重要な課題を解決するには、ふだんから川の上流の自然について、地元の方々に自らの足で歩いて、関心をもってもらうことが大切です。自然の大切さを肌で感じていただくこと。

「サカズキネット」はこれからも様々なかたちでまちづくりに取り組んでいきます。

1. 子供たちも椎茸の菌を植えるのに積極参加。
2. 江戸時代にはたたら製鉄が盛んだった倉吉市浅井地区。現在では杉林におおわれた場所で、歴史の勉強も行いました。
3. 砂防ダムが果たす役割も学習しました。

今回の森林保全活動レポートその⑬に登場する

NPO法人 サカズキネット

1995(平成7)年、鳥取県倉吉商工会議所青年部の有志と鳥取県中部地域出身の県職員の有志が集まり、県中部の自然保護を中心とした「まちづくり」の啓蒙をはかるために発足。現在のメンバーは総勢43名。講演会、景観保護運動から自然観察、椎茸づくりまで、幅広い活動を行っている。

詳しくは
〒682-0855
鳥取県倉吉市南町59番地
TEL.0858-22-3778
FAX.0858-22-3778
e-mail:sakazuki@apionet.or.jp
ホームページアドレス
http://www.apionet.or.jp/sakazuki/



森林を守るろう! 山陰ネットワーク会議 参加団体のみなさん (10月31日現在)

鳥取県
NPO法人 賀露おやじの会(鳥取市)
NPO法人 サカズキネット(倉吉市)
NPO法人 とっとり希望化計画21(鳥取市)
広葉樹文化協会(鳥取市)
財団法人 南部町地域振興会(南部町)
杉の聖・吟醸の会(智頭町)
大山横手道土ブナを育成する会(米子市)

鳥取県木造住宅推進協議会西部支部(米子市)
鳥取市女性の森グループ(鳥取市)
トリネット(米子市)
日野川の源流と流域を守る会(日野町)
丸山生産森林組合(伯耆町)
三朝温泉かじか蛙保存研究会(三朝町)
森っ子倶楽部(鳥取市)

鳥根県
出雲市林業振興協議会(出雲市)
NPO法人 緑と水の連絡会議(大田市)
NPO法人 もりふれ倶楽部(松江市)
財団法人 鳥根県西部山村振興財団(浜田市)
里山を育てる会(松江市)
しまねフォレスト・ネットワーク出雲(出雲市)
薪ストーブ同好会(松江市)

松江ネイチャーゲームの会(松江市)
木質バイオマスエネルギー地産地消ネットワーク(松江市)
森の仲間(出雲市)
遊木民倶楽部(益田市)
特別協賛
山陰中央新報社・新日本海新聞社
特別協力
凸版印刷株式会社

この広告に関するお問い合わせは事務局まで

山陰合同銀行 地域振興部内
鳥根県松江市魚町10 〒690-0062
TEL.0852-55-1820

みんなで森林を守ろう!